

佳作 自分に頭を下げるな― 苦難から成長へ



ズオン ティ ビン フオン
DUONG THI BINH PHUONG
国 籍 ベトナム
職 種 電子機器組立て
実習実施者 松井電器産業株式会社
監理団体 TWG 外国人育成就労協同組合

若い頃は、夢を追い、新しいことに挑戦する時期です。しかし、その道は決して楽ではありません。安全な道を選ぶ人もいれば、成長のために困難に立ち向かう人もいます。私は後者でした。

日本での3年間の技能実習はまさにその挑戦でした。仕事をするだけでなく、忍耐力や精神力を鍛え、自分自身を見つめ直す貴重な時間となりました。

日本へ行くと決めたとき、家族の反応はさまざまでした。応援してくれる人もいれば、「国にいても仕事はあるのに、なぜ遠くへ行くのか？」と心配する人もいました。

でも、私は分かっていました。人生を変えるには、安全な場所を出て、新しい挑戦をしなければならない。

出発前、日本語を学ぶために毎日努力しました。漢字を覚え、発音を練習し、時には挫折しそうなこともありました。でも、「これを乗り越えなければ夢は叶わない」と自分に言い聞かせました。

日本に着いたとき、私は驚きました。清潔な街、時間通り電車、真剣に働く人々。その一方で、強い孤独感を

じました。標識が読めず、電車の切符の買い方も分からない。スーパーでの買い物すら大変。その不安が「もっと学び、早く適応しよう」という意欲につながりました。

仕事は想像以上に大変でした。長時間労働高い規律、些細なミスも許されない環境。最初はプレッシャーを感じましたが、次第に気づきました。仕事はただの作業ではなく、自分を成長させるチャンスだ。努力を続けるうちに、私は学びました。成功は運ではなく、努力の積み重ねで生まれる。

この3年間で、私は自立し、困難に立ち向かう力を身につけました。誰にも頼らず、自分の力で生活する方法を学びました。

また、働くことの大切さを実感しました。自分で稼いだお金が、どれほど貴重なものかを理解しました。日本語の勉強も続け、N3を取得。言葉だけでなく、日本の文化も深く学びました。

多くの人が私に聞きます。「日本に行った価値はあったのか？」私の答えは、「非常に価値があった！」です。この経験は、ただ仕事をするためでなく、新しい考え方や規律、強い精神力を身につけるための時間でした。

自分に頭を下げず、前を向いて進み続けよう。